

特別講座「ナイトハク体験」レポート

2025/9/6 多峯主山・天覧山

1) 初めてのナイトハイクでしたがみんなで登ることができたのでとても心強く、夜景や虫の音を楽しみながら歩くことができました。I. T記

2) ナイトハイクは、月明かりが明るいと感じるほど周りが暗かったです。念の為、いつも一応ライトを持ち歩いてはいましたが、これからも続けようと思いましたO. N記

3) 山でのアクシデントを想定した夜間の登山を体験した。

- ・昼間と登山と異なり、ヘッドライトの視界のみであり、近距離しか見えない状況であった。
- ・ルートがあっているか、分岐点の確認が難しく、道迷いの危険度が格段に高くなると感じた。
- ・崖、急斜面、突起物、ぬかるみ、ザレ、浮石等の道の状況もわかりにくく、転倒、けがの可能性も高くなると感じ、慎重な山行を心掛けた。
- ・周囲の状況が見えないこともあり、動物に不用意に近づき、遭遇する可能性も高いと感じた。
- ・見えない分、耳で感じる虫や鳥の鳴き声には敏感に感じるようになった。
- ・そして夜空、街の明かり、星や月明りは普段のとは感じる事ができないような美しさであった。
- ・多峯主山、天覧山の山道は、一部階段のえぐれはあったが、よく整備されていることも分り、整備の方に感謝します。

・また、このような環境でも、ガイドをしていただいたスタッフの方にも感謝します。K. H記

4) ナイトハイクでは、山頂で月や夜景を見ることができ、非日常感があって、とても楽しかったです。涼しかったので、夏の日中の山行よりも歩きやすかったです。道中で1度全員でライトを消すのですが、足元が見えないぐらい暗く夜の山行の危険性も学ぶことができました。O. Y記

「多峯主山ナイトハイク」 記録 【計画から下山まで】 記録1 班小島

1. 日程 (計画)

2025/9/6 武蔵台登山口(19:15)―多峯主山(19:30)―天覧山(20:00)―天覧山登山口(20:20)

2. コースタイム

2025/9/6 武蔵台登山口(19:13)―多峯主山(19:34)―天覧山(20:14)―天覧山登山口(20:31)

3. メンバー 1 班班員 5 名、運営委員 3 名

4. 天候 晴、薄曇り

5. 状況、および、感想

武蔵台登山口まではバスで移動した。すでに日没(18時)を過ぎており、明りがなければ道や周囲の状況が分からない状況でした。

全員ヘッドライトを装着したが、視界はライトが照らすエリアのみであり、コース、足元に注意しながら山行を開始しました。

途中の展望所では、ライトを消灯し、日高市、川越市方面の夜景を楽しむとともに、周囲状況を確認し、昼間との違いや、視界がないことに伴って虫の声などに聴覚が敏感になっていることを感じた。多峯主山、天覧山の登山道は、よく整備されていたが、道の状態が分かりにくく、転倒や踏み外し等の危険が大きくなっていることを感じた。また、進行方向、分岐点が分かりづらく、道迷いの危険性が増していることも感じられた。

このような状況の中でも、多峯主山、天覧山山頂では、飯能市方面の夜景や、月明りの空を楽しむ事ができた。全員無事に下山できたのも、運営委員のご指導のもと、メンバーが安全行動に努められた事にあると思います。あらためて、運営委員及びメンバーに感謝いたします。

以上